
リペア マニュアル

カーボン セラミック ブレーキの取扱いに関する一般注意事項(CSiC)

3400... I REP-ALG-RAF1034-34_HINWEISE_CSIC - V.5

ブレーキ システムは車両の最も重要なセーフティ システムのひとつである。従って、ブレーキ システムの修理作業時には特に入念に手順を進めて、以下の注意事項を守る必要がある。

一般的に固い素材による衝撃負荷および衝突、セラミック面およびエッジの損傷を招くおそれがあることが指摘される。

- スタッフは当該のトレーニングを習得する必要がある
- ブレーキ ディスクおよびブレーキ キャリパーの損傷を防止するために、必ずホイール取付けジャッキを使用してホイールを脱着する
- カーボン セラミック ブレーキ ディスクは再調整または変更を行ってはならない。
- 接続部品の増し締めまたは取り外しは認められない
- ハブ接触面およびリム接触面の損傷は認められない
- カーボン セラミック ブレーキ ディスクのパッド接触面のエッジの剥離はわずかな範囲で認められています！そのために、カーボン セラミック ブレーキ ディスクの摩耗判定を参照
- 落下などによって著しい衝撃負荷を受けたブレーキ ディスクは使用してはならない。-> ブレーキ ディスクは目視点検によって損傷が認められた場合使用できない！
- 摩耗測定：
カーボン セラミック ブレーキ ディスクの摩耗点検を参照！
- カーボン セラミック ブレーキ ディスクの判定
- 中古状態のカーボン セラミック ブレーキ ディスクの視覚的品質判定に関する限度見本カタログを参照
- 新品状態のカーボン セラミック ブレーキ ディスクの視覚的品質判定に関する限度見本カタログを参照。
- カーボン セラミック ブレーキ ディスクは必要な場合のみ高压クリーナーで洗浄する(当該安全規定を守ること)。
- ブレーキ クリーナーを使用してはならない
- ボア内に汚れが固着している場合、この場合も適切な補助工具(穿孔機など)で手動にて押し出すこと。
ボアを機械的に処理しないこと。穴を開けたり、座ぐりすることは認められない！

新しいブレーキ ディスク/ブレーキ パッドの慣らしブレーキ操作に関する一般注意事項を参照